

IDCJ 評価部主催「第 49 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ」
 (2025/12/15, 17 & 19) (対面 & Zoom 開催) の事後アンケート

1. 「ランダムアサインメント(無作為割付)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 大変有意義な講義をありがとうございました。ランダムアサインメントに限らず、全ての講義において、「ここまで分かりやすい統計の講義は初めて！」とずっと感動していました。
- 理解できました。
- 大変満足です。
- ほぼすべて理解できたと思います。
- たいへんわかりやすく、重要性が理解できる講義でした。
- 私は高校の時にあまり数学の知識を積み上げることが出来ず、したがって基礎学力が弱いです。そんな私が、ここまでかみ砕いて理解出来たことは奇跡だと思います。
- 質問するに至らなかったが、「なぜコインなのか」に引っかかる受講生は多いのかな？と思いました。このエピソードもありましたら教えて頂きたかったです。

(そのほかに統計学的な技術的なコメントがありました)

2. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 標準偏差の考え方を初めて知りました。
- 独学で勉強したことがあります、改めて分かりやすく説明して頂けて、よく理解できました。佐々木さんのジェスチャー付きの説明に癒やされました。
- 大変満足です。標準偏差については、なぜそれが重要なのかを信頼区間との関係でご説明いただき、また、偏差値や TOEIC の例など日常生活で使われている場面や誤解しやすい点なども教えていただき、理解しやすかったです。
- ほぼすべて理解できたと思います。
- 恥ずかしながら教科書や参考書を読んでわかっていた気になっていたことがよくわかるほど、初めて各項目の意味及びイメージを理解できたと思いました。
- 平均値や中央値は元から理解していたので、問題はありませんでした。一方で、標準偏差に関しては、「なにがわからずにひっかかるか分からない感じのモヤモヤ」をずっと抱えてきました。そのため、講義を聞くだけでは、正直ピンと来なかったです。しかし、質問にご回答頂いたときに「平均値からの距離」と言っていただけて、ピンときました。きっとこの表現に救われる受講生は多いのではないかと思いました。

(そのほかに統計学的な技術的なコメントがありました)

3. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 分かりやすい説明でした。今後の評価業務で自分でも適用できそうだと思いました。
- 満足。次の質問にあるカイ二乗検討も合わせて、事前・事後のt検定、2群のt検定、カイ二乗検定につき、それれどいうときに使うのか簡単な説明を入れた検定の俯瞰図のようなものがあるとより分かりやすいように思いました。
- ほぼすべて理解できたと思います。

- 聞き逃している可能性もありますが、講座後に「○%水準で有意」の部分の理解が欠けていると気づきました。この「○%水準で有意」の部分は、どのような基準で○の部分を決めるのでしょうか？これも決めの問題でしょうか？
- 全項目の中で、一番有意義な項目でした。「統計的に有意である」を自分で説明できるようになってうれしいです。

(そのほかに統計学的な技術的なコメントがありました)

4. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- こちらも分かりやすかったです。
- 満足。3のコメントと同じ。
- ほぼすべて理解できたと思います。
- カイ二乗検定の目的それ自体が、講座をきくうえでピンとこないことがありました。例題で「受講生 100 人のうち 60 人がはい、40 人がいいえと答えた。この回答数に違いがあると言えるのだろうか？」という例題がありました。この「回答数に違いがあると言えるのだろうか？」という問いは、誰が、どのような状況において発するものなのだろう？というところが分かりませんでした。
- 講義は簡潔で計算式もわかりやすかったです。私の理解が及んでいないところもあるのですが、どのような仮説を立証したいときに比率の検定を使うのか、もう少しケースを読みたかったです。

(そのほかに統計学的な技術的なコメントがありました)

5. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 理解はできましたが、講義で扱ったケースがシンプルなケースだったので、実際の評価業務ではどれを X にしたらよいかなど、迷いそうだなと思いました。
- 満足。苦手意識の強かった部分であるが、一つ一つ丁寧にご説明いただき、またクラスでいくつか演習問題にも取り組んだので、回帰分析の基本的考え方を理解し、エクセルの回帰分析で提示される様々な数字を解釈できるようになったことは喜ばしい。他方、エクセルで手計算をしているときは、セルのコピーや計算式の入力といった作業にばかり気をとられ、一つ一つの作業の持つ意味や作業間のつながりを考える余裕がなく少し混乱した。
- 有意水準のところで出てくる * は何のため？
- ほぼすべて理解できたと思います。
- 一生に一度の手計算を経験できて、手を動かすと理解しようとする意識がより深まることが発見でした。もう少し時間があれば、重回帰分析の図表を一から自分で書いてみる練習問題を書いてみることをしてみたかったです。ただ、3日目の後半だと集中力を保つのが難しいので、理解を深めるための復習問題としてやってみたいなと思いました。

(そのほかに統計学的な技術的なコメントがありました)

6. 「事前研修：インパクト評価の基本デザインと実例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- とても参考になりました。特にスーダンの井戸改修事業の例は、事前事後比較でも t 検定を使えることがわかったので、最近は評価業務の予算が大きく削られていますが、これなら限られた評価予算でもできそうな気がします。

- インパクト評価の5類型と、それぞれの特徴、限界を事例も交えて説明いただけたので大変分かりやすかったです。
- ほぼすべて理解できたと思います。
- 初見のことが多かったので、ためになりました。内容はオンラインで事前学習でもいいなと思いました。

7. 対面とZoomのハイブリッド開催については、いかがでしたか？

- 海外在住で1, 2日目はオンライン参加だったので、ZOOM開催をしていただきありがとうございました。ハイブリット開催だと参加しやすいです。
- 音声が聞こえなくなることが何回かありましたが、特に問題ありませんでした。
- 私はリアルで参加しておりました。
- 1日目は講師の佐々木先生の声が少し小さめに聞こえました。ただ2日目および3日目は、1日目よりも聞き取りやすかったです。講義の際にピンマイクを使っていただけすると、より聞き取りやすくなるのではないかと思いました。

8. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。

- 【本講義で良かった点】本講義を受けることができて本当によかったです。初学者には、とにかくわかりやすい。疲れたタイミングで先生の経験によるお話しや、ユーモアのあるお話しが挟まれるので、統計学と「仲良くなりたい」初学者としては、イメージが掴みやすかったです。・何でも質問していいという雰囲気があったからこそ、ここまで理解が深まったのだと思いました。私も将来教育者になりたいので、ここまで頭の中で理解して、そして説明にも生かせるような講義が出来るようになりたいと強く思いました。
- とても有益な講義でした。社内でも共有させて頂き、もっとまともな評価ができるように努めてまいりたいと思います。
- 今まで統計の本は何度かチラ見しましたが、定義や数式から入っているものが多く最後まで読み終えられたことがありませんでした。今回の研修は、構成も、内容、方法共に、統計に苦手意識を持つ参加者の視点からよく練られたものだと感じました。具体例が入るので、イメージしやすく、またエクセルの関数やデータ分析ツールの活用で終わることなく、エクセルで手計算もしたので統計分析のステップもわかりました。また、講師がどんなことでも質問して良いと言ってください、質問しやすい雰囲気を作ってくださったので、心理的安全性の高いクラスとなり、大変ありがとうございました。統計学の歴史の裏話や、それ以外の小噺も大変興味深かったです。zoomの不調やエクセルを使った計算時のトラブルシミュートなどにも、気配りくださったスタッフの方にも感謝です。どうもありがとうございました。
- Zoomで参加されていた方の質問で、なるほど、と思うことが多く、質問により私も勉強になりました。あとは、よりアドバンストな内容を学びたいです。

(そのほかに、「もし可能なら考察するとさらに理解が深まる講義になるかもしれないと思った点」もいただきました。

(事後アンケートでいただいたコメントを掲載しています。)